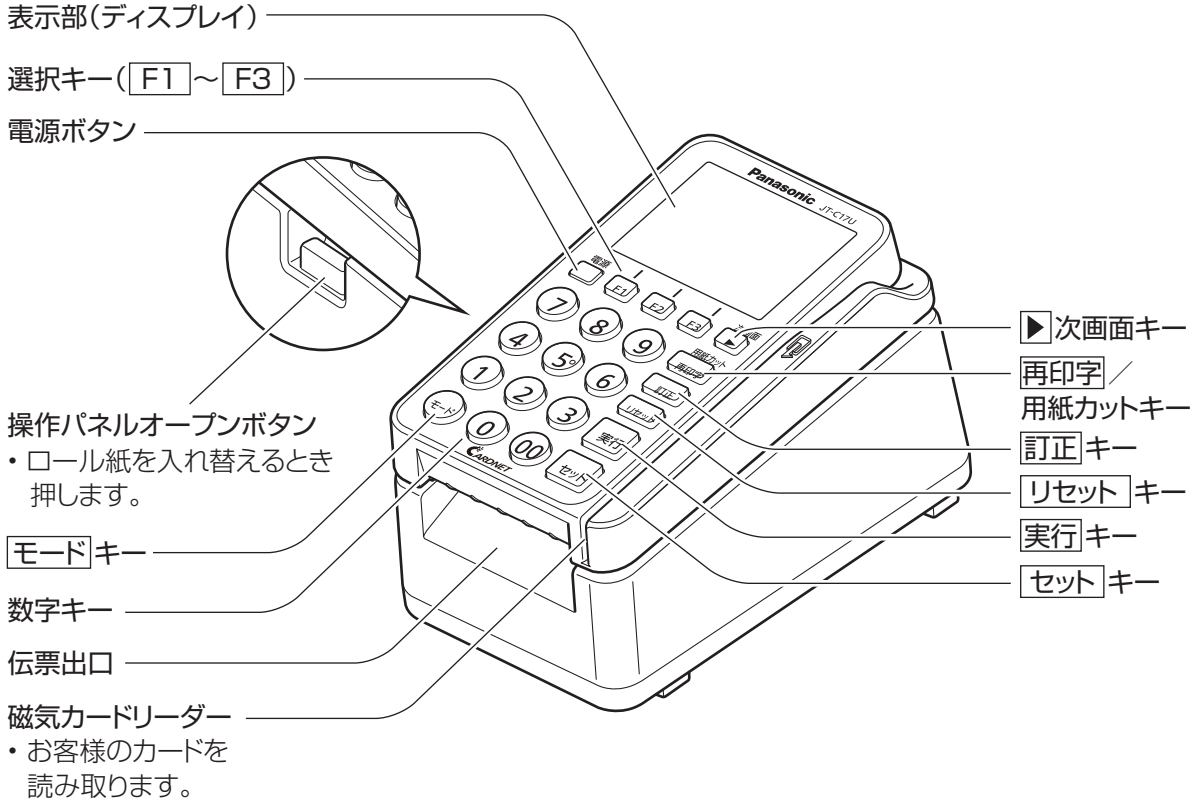


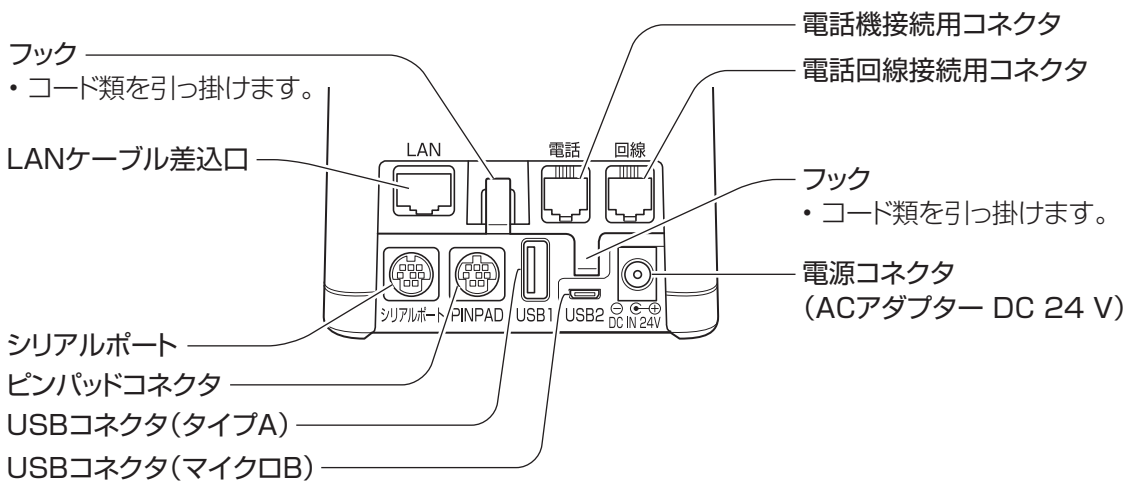
1.2 各部の名称

■ 本体について

- 本体操作キーの機能については 1-5 ページを参照ください。



【本体底面後部】



2.2 回線についてのお願い

● 電話回線についてのお願い（アナログ回線を使用の場合）

1) キャッチホン回線との接続

NTTのキャッチホンサービスの契約を行っている電話回線に「JT-C17Uシリーズ」を接続した場合、キャッチホンの呼び出し音によりデータ通信に支障が発生することがあります。

「JT-C17Uシリーズ」を接続する回線で、キャッチホンサービスも同時に利用したい場合には、キャッチホンⅡサービスの契約をおすすめいたします。キャッチホンⅡサービスで呼び出し回数を0に設定することにより、データ通信に支障を発生させずにキャッチホンサービスを利用することができます。

2) PBX への接続

構内交換機（PBX）に接続するときは、回線の電気的な条件が一般加入電話回線と同等であることをPBXの製造会社や保守担当会社に確認の上使用してください。回線の電気的な条件が異なると使用できない場合があります。

3) 2線式でない電話装置（ホームテレホンなど）でのご使用

ビジネスホンやホームテレホンなどの2線式でない電話装置は、回線の電気的な条件が一般加入電話回線と異なるため、そのまま接続することはできません。接続する場合には、電話装置の製造会社や保守担当会社に相談してください。

4) 電話機・FAX との併設

電話機・FAX との併設用モジュラーケーブルは一端はモジュラーケーブルで、もう一端はお手持ちの電話機・FAX に接続できる形状のものを用意してください。（詳しくは電話機・FAX をお買い上げいただいた販売店に相談してください。）

本機が通信中のとき、FAX または電話機の使用ができなくなっています。

5) 本機のご使用にあたって、NTT レンタル電話機が不要となる場合は、NTT へ連絡してください。ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。

詳しくは局番なしの116番へ問い合わせてください。

6) ファクスを送信されるときは、受話器、またはモニターで回線音（ツープ音）を確認後、ダイヤルしてファクスを送信してください。

回線音（ツープ音）確認前にダイヤルしますと、ダイヤルの一部が欠落し、誤った電話番号に送信されることがあります。

● LAN 回線についてのお願い（LAN 回線を使用の場合）

1) 正しく結線された信頼性のある LAN ケーブルを使用してください。

2) PoE 給電機能付のハブなどの装置と接続しないでください。

3) ハブと本端末間の距離は最大 100 m までにしてください。

4) 間違っても他のコネクタを接続しないでください。故障の原因になります。